

結果概要

1. 人口総数

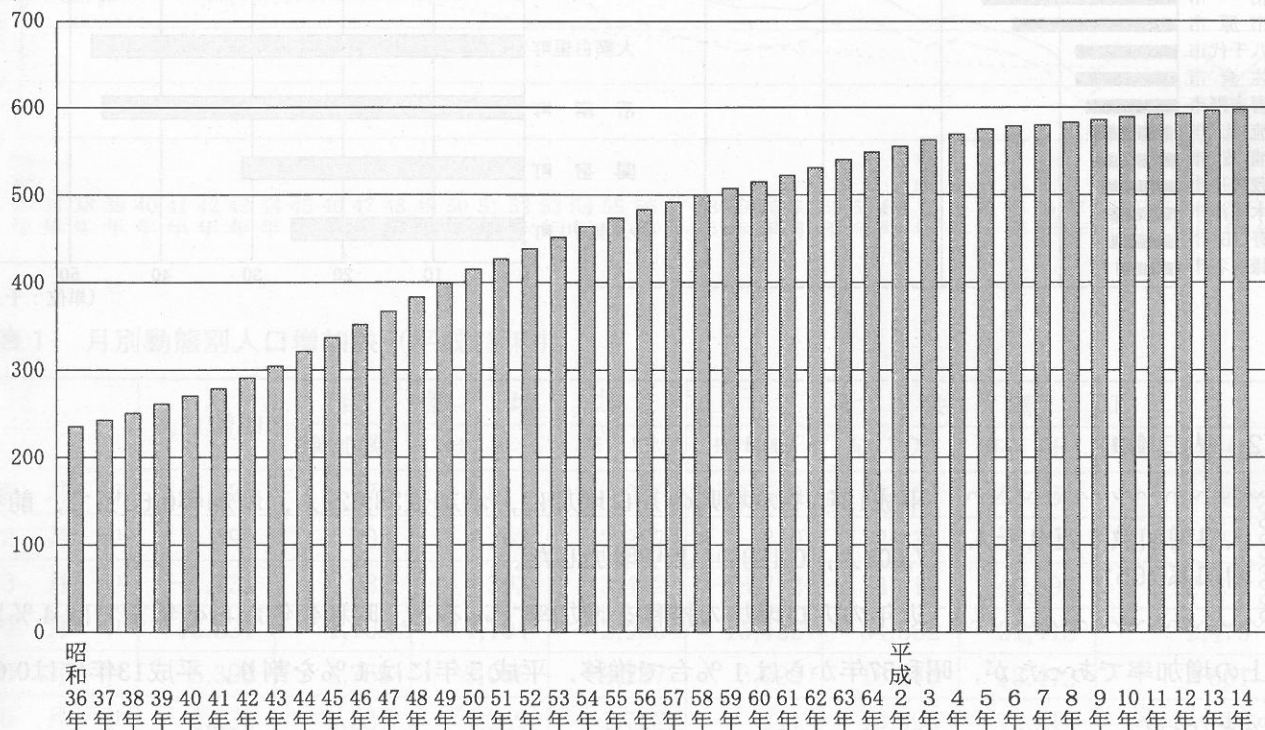
県人口597万人

平成14年1月1日現在の本県の人口は5,973,025人で、前年人口の5,934,396人に比べ38,629人、率にして0.65%増加した。本県の人口は、大正9年10月1日現在（国勢調査）1,336,155人で、その後増加を続け、昭和43年7月1日現在では300万人を超えて、3,011,134人となった。さらに、昭和49年11月1日現在では400万人を超え4,002,808人となり、昭和58年9月12日に500万人を突破した。

平成12年国勢調査（平成12年10月1日）によると、本県の人口は、5,926,285人で全国第6位となっている。

図1 千葉県人口の推移（各年1月1日現在）

(単位：万人)



千葉市人口89万8千人
県人口の15.0%を占める

平成14年1月1日現在の県人口を市町村別にみると、市部（32市）のうち10万人以上の市は15市あり、そのうち千葉市が89万8千人（県人口に占める割合15.0%）で最も多く、郡部人口69万5千人（同11.7%）より多くなっている。以下、船橋市55万5千人（同9.3%）、松戸市46万8千人（同7.8%）、市川市45万7千人（同7.6%）、柏市33万人（同5.5%）の順で続き、この5市で県人口の45.3%を占めている。

郡部（43町5村）では、富里町が5万人（同0.8%）で最も多く、大網白里町が4万8千人（同0.8%）以下、沼南町4万6千人（同0.8%）、関宿町3万1千人（同0.5%）、小見川町2万6千人（同0.4%）の順となっている。

図2 10万人以上の市

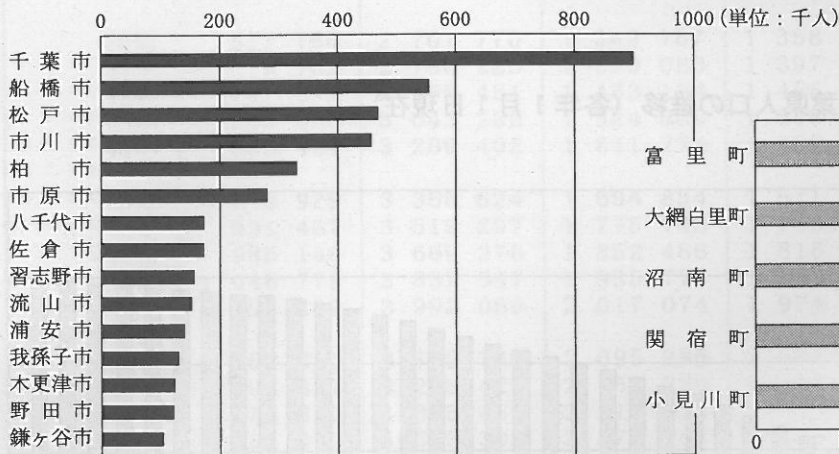
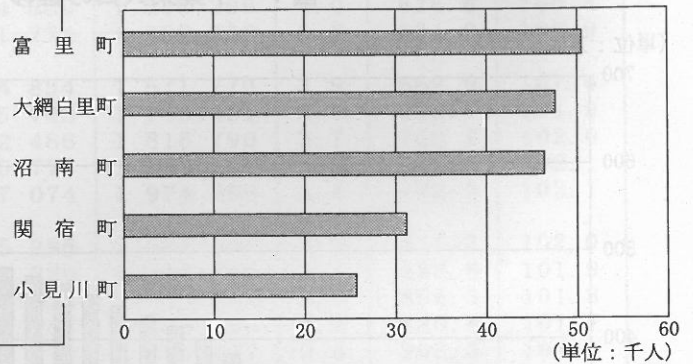


図3 3万人以上の町



2. 人口増加

人口増加数3万9千人
増加率0.65%

平成13年中の本県の人口増加は、増加数38,629人、増加率0.65%で、前年(7,008人、0.12%)より増加した。

近年の人口増加の推移を増加率でみると、昭和42年から49年までは4%以上の増加率であったが、昭和57年からは1%台で推移、平成5年には1%を割り、平成13年には0.65%となった。

自然増加数は減少

平成13年中の自然増加は、増加数17,251人（出生55,300人、死亡38,049人）で、前年の18,796人（出生56,242人、死亡37,446人）に比べ出生が942人減少し、死亡が603人増加して自然増加数は1,545人減少となった。

近年の自然増加を増加率（各年1月1日現在人口に対する自然増加総数の割合）でみると、昭和42年から54年までは1%以上の増加率であったが、昭和55年に1%を割り、平成元年以降は0.5%を下回って推移し、平成13年は0.29%となった。

社会増加数は増加

平成13年中の社会増加は、増加数21,378人（転入212,871人，転出192,251人，県内移動他758人）で，前年（含差異）の-11,788人（転入208,251人，転出194,497人，県内移動他-25,542人）に比べ転入が4,620人増加し，転出が2,246人減少し，県内移動他が26,300人増加して，社会増加数は前年に比べ33,166人の増加となった。

近年の社会増加を増加率（各年1月1日現在人口に対する社会増加総数の割合）で見ると，昭和37年から昭和50年までは2%以上の増加率で，そのうち昭和44年は，3.97%と4%に近い高い増加率であったが，昭和51年以降は1%前後の増加率で推移し，平成13年には0.36%となった。

図4 人口増加率の推移（昭和36年～平成13年）

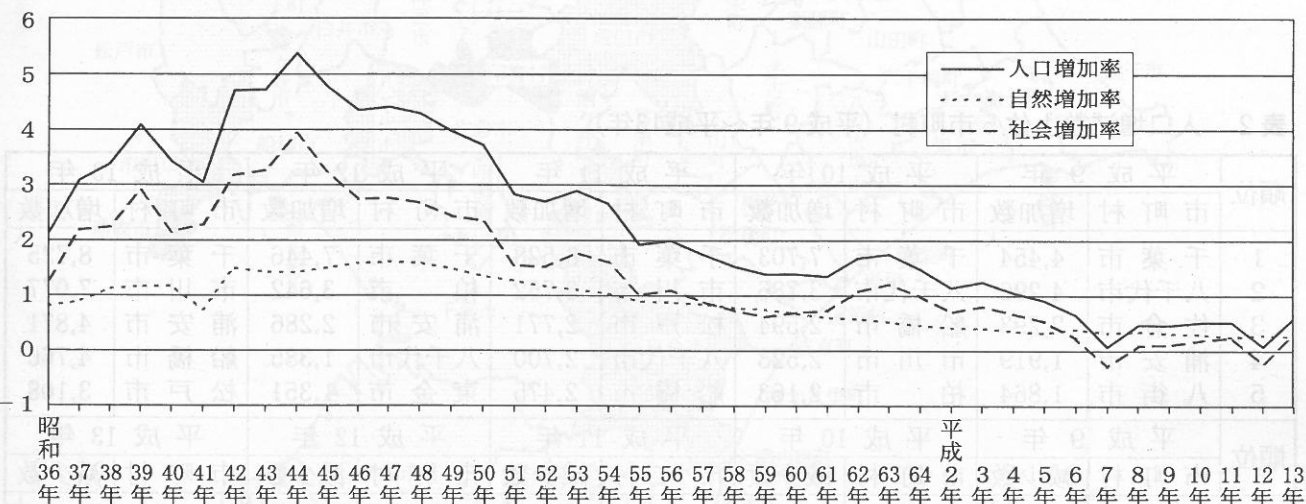


表1 月別動態別人口増加数（平成13年中）

	人口増加	自然増加			社会増加			
		増加数	出生	死亡	増加数	転入	転出	県内移動他
1月中	2,325	775	4,811	4,036	1,550	13,709	12,357	198
2月中	695	905	4,162	3,257	-210	12,834	12,845	-199
3月中	-7,731	981	4,393	3,412	-8,712	34,419	40,694	-2,437
4月中	16,531	1,109	4,104	2,995	15,422	34,362	21,415	2,475
5月中	5,398	1,769	5,056	3,287	3,629	16,440	13,472	661
6月中	2,238	1,527	4,249	2,722	711	13,995	13,219	-65
7月中	2,949	1,807	4,868	3,061	1,142	15,528	14,515	129
8月中	4,037	1,959	4,897	2,938	2,078	15,913	14,045	210
9月中	2,676	1,867	4,455	2,588	809	13,319	12,245	-265
10月中	6,212	2,119	5,321	3,202	4,093	17,270	13,658	481
11月中	2,284	1,345	4,613	3,268	939	12,795	11,877	21
12月中	1,015	1,088	4,371	3,283	-73	12,287	11,909	-451
計	38,629	17,251	55,300	38,049	21,378	212,871	192,251	758

注) 県内移動他とは，県内間の転入・転出及び職権による記載・消除等をいう。

35市町村で人口増加
最高増加率は印旛村5.91%

平成13年中の人口増減を市町村別にみると、35市町村で人口が増加（平成12年25市町村）し、45市町村で減少した。増加数では、千葉市が8,725人（県人口増加数に占める割合22.6%）で最も多く、以下、

市川市7,077人（同18.3%）、浦安市4,871人（同12.6%）、船橋市4,766人（同12.3%）、松戸市3,108人（同8.0%）と続いている。逆に、減少数では銚子市が643人で最も多く、以下富津市486人、小見川町368人、館山市365人、君津市364人の順となっている。

また、人口増加率では印旛村が5.91%で最も多く、以下、浦安市3.64%、八街市1.98%、八千代市1.63%、市川市1.57%と続いている。逆に減少率では鋸南町が1.54%で最も高く、以下、白浜町1.50%、小見川町1.41%、干潟町1.39%、丸山町1.37%の順となっている。

表2 人口増減数上位5市町村（平成9年～平成13年）

順位	平成9年		平成10年		平成11年		平成12年		平成13年	
	市町村	増加数	市町村	増加数	市町村	増加数	市町村	増加数	市町村	増加数
1	千葉市	4,454 ^人	千葉市	7,703 ^人	千葉市	8,528 ^人	千葉市	7,446 ^人	千葉市	8,725 ^人
2	八千代市	4,296	八千代市	3,786	市川市	3,752	柏市	3,642	市川市	7,077
3	佐倉市	2,293	船橋市	2,594	松戸市	2,771	浦安市	2,286	浦安市	4,871
4	浦安市	1,919	市川市	2,523	八千代市	2,700	八千代市	1,385	船橋市	4,766
5	八街市	1,864	柏市	2,163	船橋市	2,475	東金市	1,351	松戸市	3,108

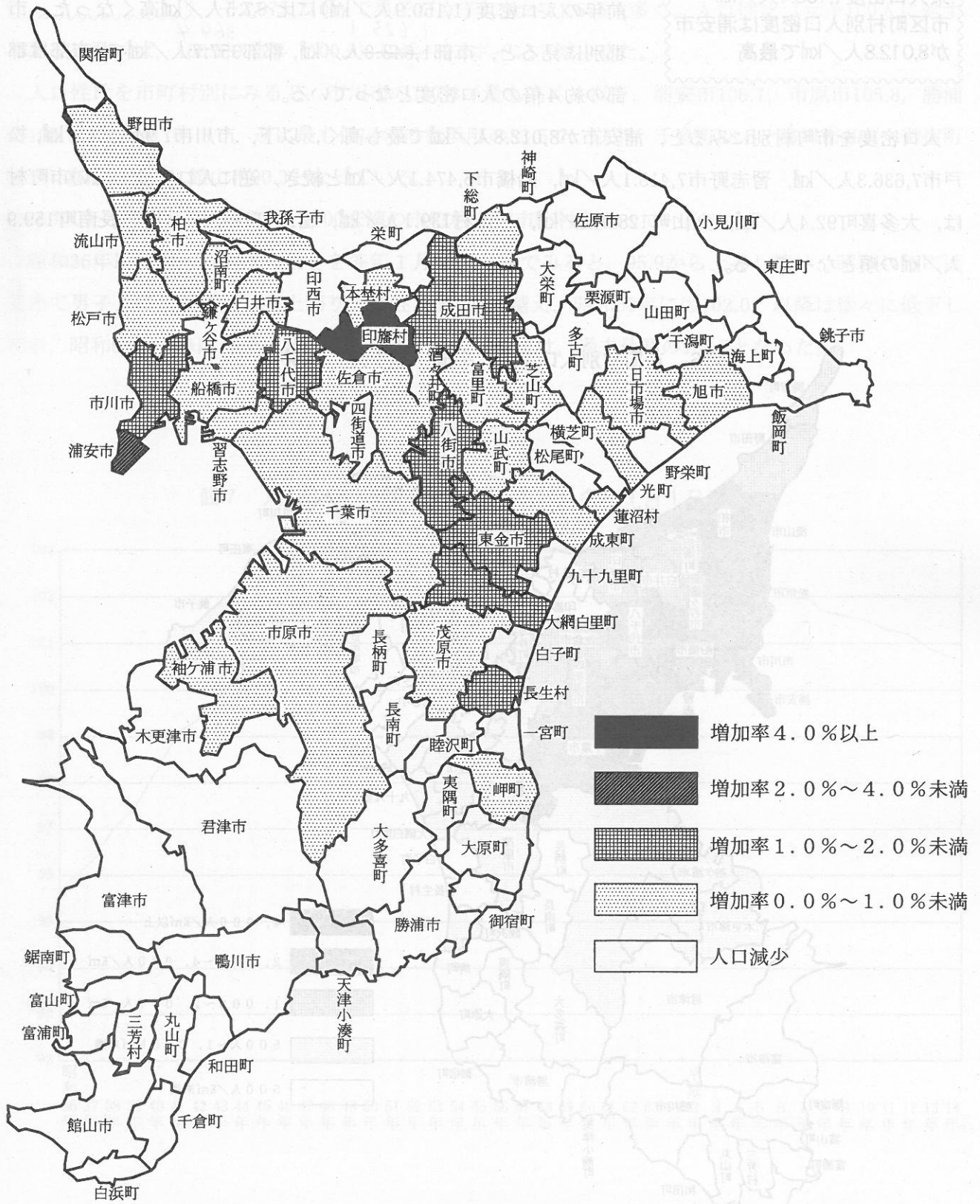
順位	平成9年		平成10年		平成11年		平成12年		平成13年	
	市町村	減少数	市町村	減少数	市町村	減少数	市町村	減少数	市町村	減少数
1	木更津市	819 ^人	銚子市	658 ^人	銚子市	675 ^人	市原市	1,996 ^人	銚子市	643 ^人
2	銚子市	580	佐原市	485	富津市	350	野田市	1,561	富津市	486
3	佐原市	288	館山市	320	鴨川市	343	君津市	1,173	小見川町	368
4	鴨川市	270	鴨川市	274	勝浦市	234	佐倉市	1,061	館山市	365
5	館山市	269	富津市	245	関宿町	189	銚子市	919	君津市	364

表3 人口増減率上位5市町村（平成9年～平成13年）

順位	平成9年		平成10年		平成11年		平成12年		平成13年	
	市町村	増加率	市町村	増加率	市町村	増加率	市町村	増加率	市町村	増加率
1	本埜村	36.72%	本埜村	12.51%	本埜村	15.10%	印旛村	11.33%	印旛村	5.91%
2	八街市	2.76	神崎町	2.58	八街市	2.47	本埜村	5.18	浦安市	3.64
3	八千代市	2.73	大網白里町	2.35	大網白里町	1.71	浦安市	2.60	八街市	1.98
4	神崎町	2.66	八千代市	2.34	八千代市	1.63	東金市	2.30	八千代市	1.63
5	大網白里町	2.12	東金市	2.10	佐倉市	1.33	富里町	1.34	市川市	1.57

順位	平成9年		平成10年		平成11年		平成12年		平成13年	
	市町村	減少率	市町村	減少率	市町村	減少率	市町村	減少率	市町村	減少率
1	鋸南町	1.59%	天津小湊町	1.39%	富山町	1.87%	長南町	3.37%	鋸南町	1.54%
2	天津小湊町	1.18	大多喜町	1.25	和田町	1.72	干潟町	3.16	白浜町	1.50
3	富山町	1.15	鋸南町	1.12	白浜町	1.49	岬町	3.00	小見川町	1.41
4	千倉町	1.11	長柄町	1.12	天津小湊町	1.44	栗源町	2.13	干潟町	1.39
5	長南町	1.04	勝浦市	1.01	丸山町	1.29	小見川町	2.10	丸山町	1.37

図5 市町村別人口増加率（平成13年1月～12月）



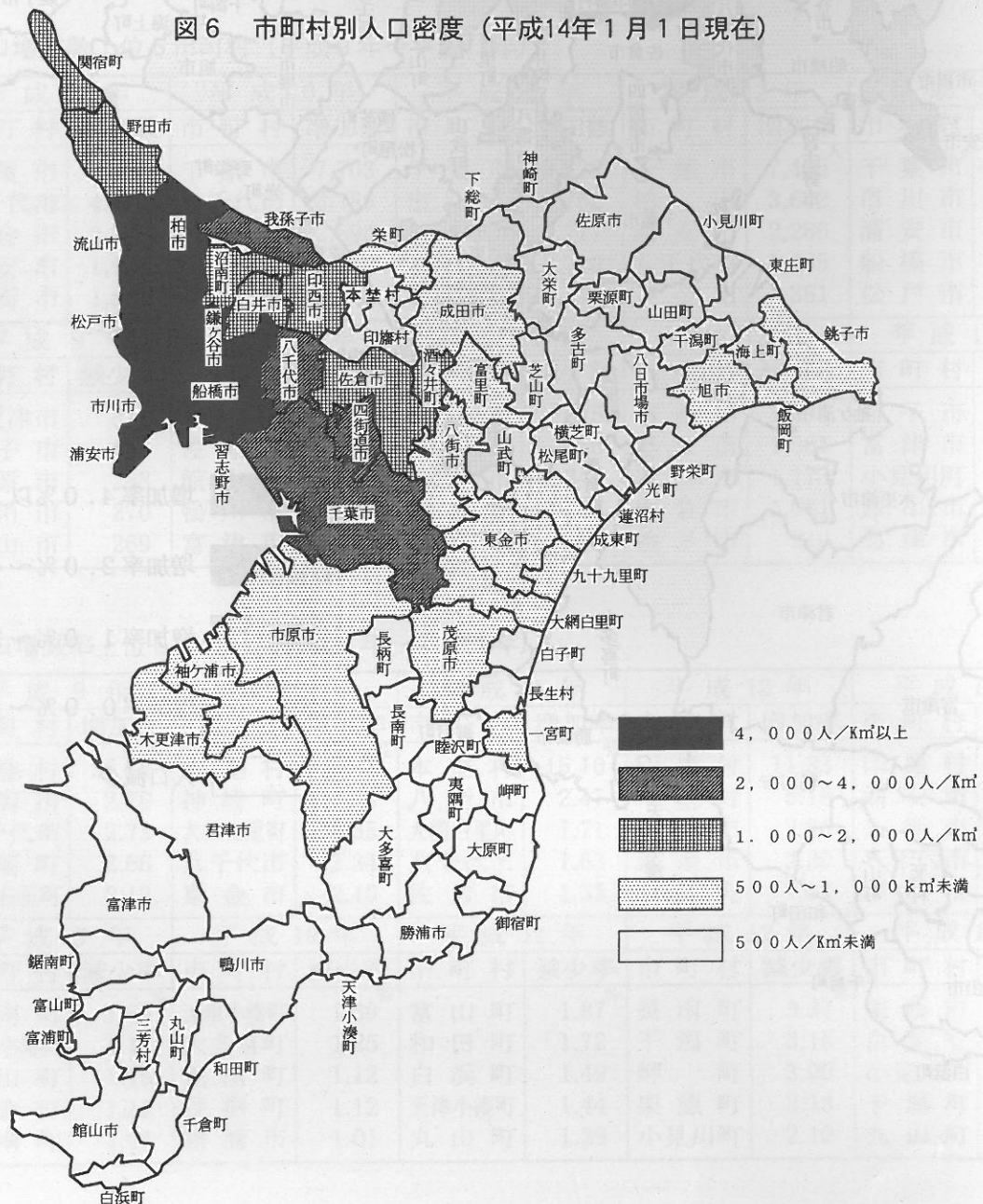
3. 人口密度

県人口密度1,158.4人/km²
市区町村別人口密度は浦安市
が8,012.8人/km²で最高

本県の人口密度は、平成14年1月1日現在、1,158.4人/km²で、前年の人口密度(1,150.9人/km²)に比べ7.5人/km²高くなった。市郡別に見ると、市部^{1,625.1}1,643.0人/km²、郡部^{364.4}357.7人/km²で、市部は郡部の約4倍の人口密度となっている。

人口密度を市町村別にみると、浦安市が8,012.8人/km²で最も高く、以下、市川市7,949.2人/km²、松戸市7,636.3人/km²、習志野市7,418.1人/km²、船橋市6,474.1人/km²と続き、逆に人口密度の低い市町村は、大多喜町92.4人/km²、丸山町128.9人/km²、三芳村139.1人/km²、富山町149.0人/km²、長南町159.9人/km²の順となっている。

図6 市町村別人口密度 (平成14年1月1日現在)



4. 人口性比

県人口性比100.7

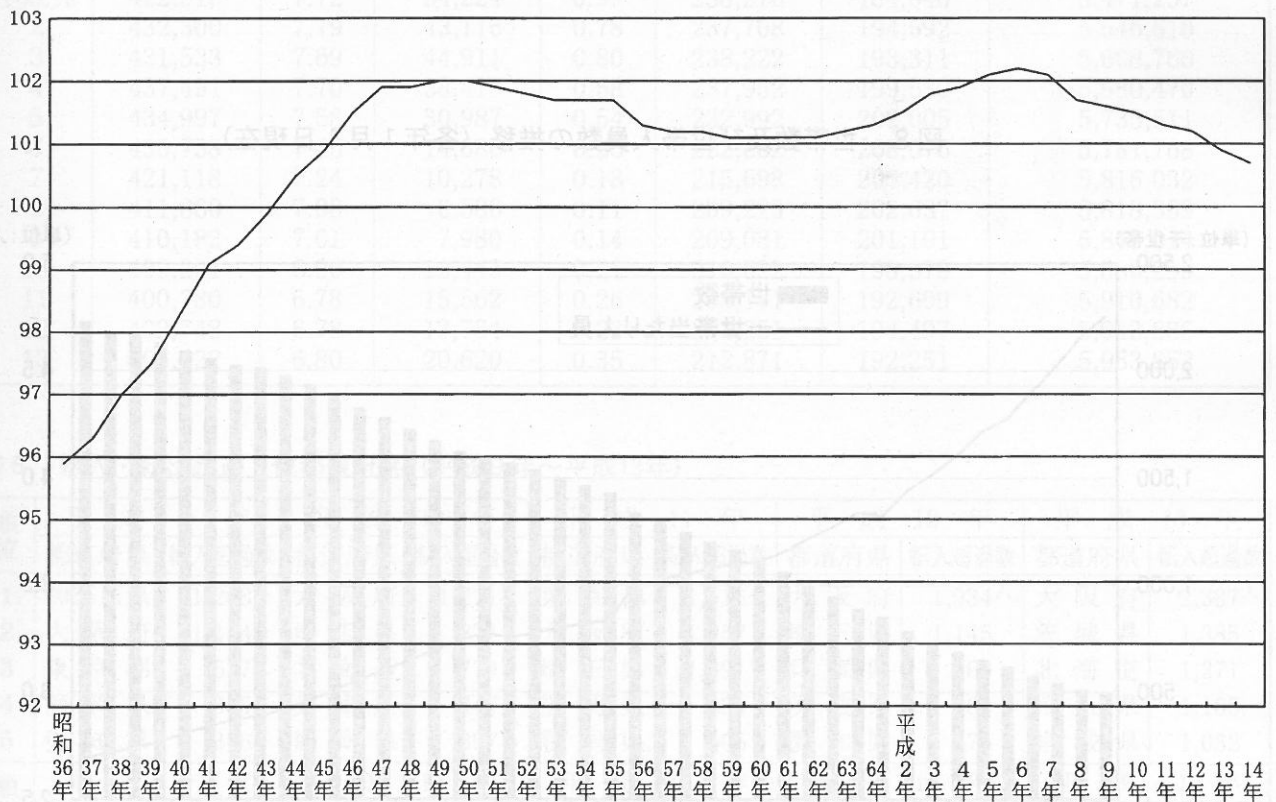
平成14年1月1日現在の本県の人口を男女別にみると、男子2,997,315人、女子2,975,710人で男子が女子に比べ21,605人多く、人口性比（女子100人に対する男子の数）は、100.7で前年（100.9）に比べ0.2ポイント減少した。

人口性比を市町村別にみると、市川市の107.3が最も高く、以下、浦安市106.7、市原市105.8、勝浦市105.7、富里町104.8で、逆に最も低いのは白浜町の83.5で、以下、千倉町88.5、鴨川市89.1、御宿町89.8、富浦町90.1、館山市90.3となっている。

100以上の市町村は22市町で、100未満の市町村は58市町村となっている。

昭和36年以降の人口性比の動きを各年1月1日現在で見ると、95.9から上昇し続け、昭和44年にはじめて男子人口が女子人口を上回り人口性比が100を越え、昭和50年には102.0、以降は徐々に低下したが、昭和63年以降は再度上昇傾向にあり、平成6年には、過去最高の102.2となった。

図7 人口性比（昭和36年～平成14年、各年1月1日現在）



5. 世帯数

平成14年1月1日現在の
 県世帯数222万4千
 1世帯当たり人員は
 2.69人

平成14年1月1日現在の本県の世帯数は2,223,990世帯で前年の世帯数2,179,439世帯に比べて44,551世帯増加し増加率では2.05%となり、

人口増加率0.65%よりも高い率となっている。

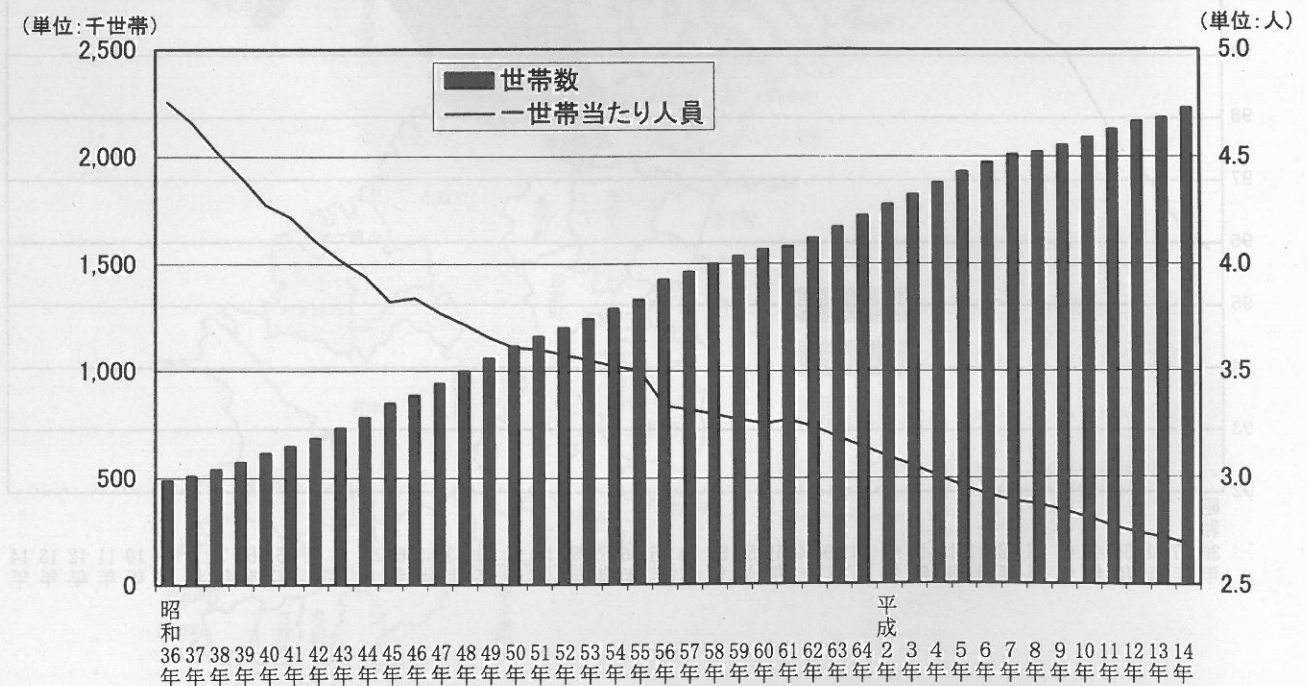
1世帯当たり人員は2.69人で、前年の2.72人に比べ0.03人減少した。また、1世帯当たり人員を市町村別にみると、千潟町の4.16人が最も多く、以下、山田町3.94人、野栄町3.72人、東庄町3.69人、本埜村3.63人、栗源町3.61人と続き、逆に最も少ないのは市川市の2.29人で、以下、浦安市2.32人、習志野市2.47人、勝浦市・船橋市・松戸市2.51人の順となっている。県の1世帯当たり人員より少ないのは11市町で、多いのは69市町村となっている。

表4 月別世帯増加数 (平成13年中)

	増加数	転入	転出	その他
1月中	1,636	6,812	5,847	671
2月中	862	6,630	6,604	836
3月中	2,048	17,476	16,427	999
4月中	15,155	20,337	8,850	3,668
5月中	4,955	9,357	6,039	1,637
6月中	2,699	7,496	6,108	1,311
7月中	2,677	8,098	6,668	1,247
8月中	2,903	8,125	6,480	1,258
9月中	2,629	7,496	5,850	983
10月中	4,694	9,368	6,445	1,771
11月中	2,356	6,958	5,687	1,085
12月中	722	6,242	5,944	424
計	43,336	114,395	86,949	15,890

注) その他は、県内間の転入転出、死亡世帯及び職権による記載・消除等をいう。

図8 世帯数及び世帯人員数の推移 (各年1月1日現在)



6. 県外との人口移動

人口移動総数41万人
移動率6.80%

平成13年中の県外との移動者総数（転入者数と転出者数の和）は、405,122人で前年の402,748人に比べ2,374人増加し、移動率（各年7月1日現在人口に対する移動者総数の割合）は6.80%と、前年と比べて0.02%増加した。

2万1千人の転入超過
転入超過率0.35%

平成13年中の県外からの転入者数は212,871人（前年208,251人）、転出者数は192,251人（同194,497人）で、転入超過数20,620人（同13,754人）となり、転入超過数は6,866人増加した。

また、平成13年の転入超過率（各年7月1日現在人口に対する転入超過数の割合）は0.35%と、前年の0.23%に比べて0.12ポイント上昇した。なお、県外との関係は42の都道府県から転入超過となり、4県へは転出超過となっている。

表5 年次別他都道府県間人口移動総数（昭和62年～平成13年）

年次	移動数	移動率	転入超過数	転入超過率	転入数	転出数	千葉県人口 (各年7月1日現在)
62	401,782人	7.61%	57,850人	1.10%	229,816人	171,966人	5,283,115人
63	417,118	7.75	64,544	1.20	240,831	176,287	5,380,759
平成元	422,316	7.72	54,224	0.99	238,270	184,046	5,471,257
2	432,300	7.79	43,116	0.78	237,708	194,592	5,546,610
3	431,533	7.69	44,911	0.80	238,222	193,311	5,608,760
4	437,491	7.70	38,413	0.68	237,952	199,539	5,680,470
5	434,997	7.58	30,987	0.54	232,992	202,005	5,735,511
6	430,738	7.45	14,586	0.25	222,662	208,076	5,781,768
7	421,118	7.24	10,278	0.18	215,698	205,420	5,816,032
8	411,860	7.08	6,586	0.11	209,223	202,637	5,818,369
9	410,182	7.01	7,980	0.14	209,081	201,101	5,849,014
10	409,201	6.96	12,443	0.21	210,822	198,379	5,880,299
11	400,780	6.78	15,562	0.26	208,171	192,609	5,910,682
12	402,748	6.78	13,754	0.23	208,251	194,497	5,943,886
13	405,122	6.80	20,620	0.35	212,871	192,251	5,953,852

表6 転入・転出超過上位都道府県（平成9年～平成13年）

順位	平成9年		平成10年		平成11年		平成12年		平成13年	
	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数
1	神奈川県	1,268人	大阪府	1,271人	東京都	1,516人	大阪府	1,934人	大阪府	2,387人
2	大阪府	1,174	埼玉県	874	大阪府	1,257	埼玉県	1,145	茨城県	1,385
3	東京都	637	北海道	779	埼玉県	1,091	兵庫県	869	北海道	1,371
4	静岡県	386	兵庫県	447	福岡県	634	茨城県	762	埼玉県	1,185
5	愛知県	346	静岡県	397	新潟県	606	愛知県	673	宮城県	1,032
順位	平成9年		平成10年		平成11年		平成12年		平成13年	
	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数
1	茨城県	1,410人	茨城県	1,053人	沖縄県	60人	東京都	2,650人	東京都	3,396人
2	長野県	176	東京都	41	鹿児島県	46	群馬県	170	神奈川県	437
3	大分県	126	島根県	35	岩手県	13	神奈川県	157	香川県	2
4	鹿児島県	115	福井県	24	高知県	10	青森県	24	沖縄県	2
5	群馬県	75			山梨県	9	大分県	15		

7. 人口重心

人口重心は千葉市花見川区
畑町付近

本県の人口重心は、平成14年1月1日現在で千葉市花見川区畑町付近の東経140度5分16秒・北緯35度39分44秒の位置にあり、平成12年国勢調査（平成12年10月1日現在）時点より南西方向に約300m移動した。

大正9年の人口重心は、市原市瀬又付近であるが、その後、人口重心は北西方向に移動してきている。

注) 人口重心とは、人口の一人一人が同じ重さを持っているとして、地域内の人口を1点で支えて平衡を保つことのできる点をいう。これは、人口の地域分布状況を集約して示す指標の一つである。なお、千葉県の人人口重心の計算にあたっては、県内各市町村の人口重心がそれぞれ現在の市役所・町役場にあると仮定した。

表7 千葉県の人口重心の推移（大正9年～平成14年）

年次	東 度 分 秒	北 緯 度 分 秒	移動距離 km	位 置
大正9年	140 12 38	35 32 25	—	市原市瀬又付近
大正14年	140 12 24	35 32 49	0.8	千葉市誉田町付近
昭和5年	140 12 23	35 33 12	0.7	〃
昭和10年	140 12 22	35 33 29	0.5	〃
昭和15年	140 12 9	35 33 50	0.7	千葉市平山町付近
昭和22年	140 11 30	35 34 7	1.1	〃
昭和25年	140 11 24	35 34 18	0.4	〃
昭和30年	140 10 57	35 34 44	1.0	〃
昭和35年	140 10 8	35 35 23	1.7	千葉市仁戸名町付近
昭和40年	140 8 19	35 36 45	3.7	千葉市貝塚町付近
昭和45年	140 6 43	35 37 34	2.9	千葉市轟町付近
昭和50年	140 5 52	35 38 20	1.9	千葉市小仲台付近
昭和55年	140 5 27	35 38 53	1.2	千葉市小中台町付近
昭和60年	140 5 15	35 39 10	0.6	千葉市朝日ヶ丘付近
平成2年	140 5 8	35 39 28	0.6	千葉市畑町付近
平成7年	140 5 20	35 39 49	0.7	千葉市花見川区畑町付近
平成12年	140 5 20	35 39 54	0.2	〃
平成14年	140 5 16	35 39 44	0.3	〃

資料：大正9年～平成12年は、国勢調査結果による（各年10月1日現在）

平成14年は、千葉県毎月常住人口調査結果による（1月1日現在）

図9 人口重心の移動 (大正9年~平成14年)

